

40

ブラックライトで光る!?

博物館資料のレプリカを作ろう!!

徳島県立博物館ボランティアスタッフ

1. ねらい

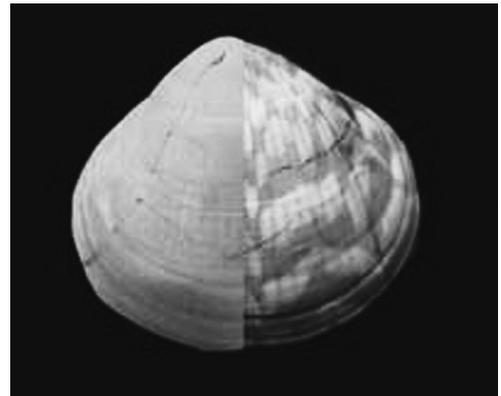
博物館資料をもとにして作ったゴム凹型に樹脂ねん
 どもを押し込んで、博物館資料のレプリカ（複製）を作
 ります。化石や考古資料などの型取りを体験してもら
 うことによって、生物の形の不思議さや、人間が作っ
 てきた造形物の意味についてふれてみましょう。また、
 ブラックライトで照らすと、光る博物館資料があり
 ます。光るレプリカを参考に、その仕組みを学んで
 みましょう。



完成したアンモナイトのレプリカ（左手前）。
 右奥はホンモノのアンモナイト化石

2. 用意するもの

博物館資料のゴム凹型：アンモナイトや二枚貝の
 化石、勾玉など
 材料：樹脂ねんど（商品名：おゆまる）



ブラックライトで光る貝がら

3. やりかた

お湯で温めて柔らかくした樹脂ねんどもを、凹型に押し
 込みます。その後、流水で樹脂ねんどもを冷やします。
 冷えて固まったらできあがり。レプリカにブラックラ
 イトをあてるとどうなるかな？



レプリカ作製の様子

4. 注意事項

ブラックライトの正体は紫外線です。強いエネル
 ギーを持った光なので、光をのぞきこんだり、人に
 向けて照射してはいけません。最悪の場合、失明につながる
 ことがあります。

また、文化財を照らすと色があせたり、痛みがはげしくなったりするので、必要な場所
 以外はブラックライトをあてないよう注意してください。